
空と海の青

佐和月そら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空と海の青

【Nコード】

N9785F

【作者名】

佐和月そら

【あらすじ】

高校生の恋人たちの別れを切なく短くまとめてみました。一話完結のショートストーリーです。

その言葉に、あたしは思いっきり鼻白んだ。

ズーンと落ち込んだ最悪な気分の方に、頼んでもいない料理を食べさせられたあげく、さあこれから歌を合唱しましょうとでも、明るく言われたような感じ。しかも大嫌いな歌を。

リップをぬった唇をぎゅっと結んだ。なんだか、頭にきた。カッカ、カッカしてきたのは日差しの暑さだけではないと思う。

ズボンのポケットに両手を入れたまま、彼が振り返った。履き慣れた黒い革靴が砂に汚れている。白い半袖シャツは、真夏の光にきらきらと反射している。日にあたると、青白い肌がますます透きとおって見える。

体を動かすのは好きじゃないんだと苦笑いをした彼に、じゃあその分あたしがいっぱい走るからと言ったのは、去年の体育祭での話。彼はからきし運動はダメだから。あなたちは正反対ねえと、家に連れてきた彼を見て、母にからかわれたのは、半年前の話。その時、僕たちは磁石なんですと真面目に彼は言った。NとS。北と南。けして同じにはなれないけれど、ふたつは惹かれあっています。触れあうことはできないのに、必ず一緒にいるんです。それを聞いて、あたしも思った。ずっと一緒にいたい。

ずっと一緒に……

彼が笑った。

白い歯が光り輝くような笑い方ではなくて、照れたようにはにかんだ笑顔。あたしのいっとう大好きな笑顔。彼に告白した時も、照れくさそうに頭をかきながら、優しく笑ってくれた。

遠くへ行くことになったんだ。

この浜辺へ足を踏み入れた時から、嫌な予感はしていた。あたしたちは今年学校を卒業する。同じ地元の大学を希望していた。海辺に寄せる波の音に耳を傾けながら、話があるんだと切り出して、彼

はそう言った。

空と海がどうして青いか知ってる？

さっきの彼の言葉。

あたしは唇をぎゅっと結んだままだ。

彼は恥ずかしがるように笑い、それでもはつきりと喋った。

空と海が青いのは、お互いを慕っているからだよ。でもけっして触れあうことはできない。だから互いの気持ちに変わりのないことを示すために、真っ青なんだ。

だからなんなのよ。あたしは噛みついた。その拍子に、口のなかにぼろんと入った。塩っ辛い味。太陽は眩しいのに、雨でもふっているの？

彼はあたしの前に立つと、ひよろっとした長い背中で、陽の光を遮った。

僕はずっと見上げているから。

あたしがいつも見上げなきゃいけない男が言う。

離れていても、青い海のまま、青い空を見ているから。

彼のひとさし指が、あたしの目尻をぬぐった。

だから、泣かないで。

あたしは両手で顔を覆った。バカみたいに涙がとまらなくなった。夏の日の午後、晴れた青い空の下で、青い海の波音を聞きながら、彼の別れの言葉に泣くなんて出来すぎている。ほんとにバカみたい。でも次々とあふれてくる。

彼があたしの両肩にそっと手を置いた。それはいつもの感触。あたしと彼はいつだって手をつないだり、背中に抱きついたり、キスだってできた。

波の音が、前よりも遠く感じる。

涙がとまらなかった。

(後書き)

一話完結です。すごく気に入っている物語で、切ない感じを短くまとめることができ、満足しております。題名も好き。別の物語でも使いたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9785f/>

空と海の青

2011年1月19日02時40分発行